

日本陸水学会甲信越支部会 第 51 回研究発表会 開催案内

2025 年 12 月 6 日(土)～7 日(日)

会場:ジュネスハケ岳(本館)
〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境 12067-3
URL: <https://junes-yatsugatake.jp/>

大会実行委員長:宮原裕一
要旨集作成(庶務幹事):坂本正樹
会長:朴虎東

日 程

月 日	時間	行事等
12 月 6 日(土)	13:20-13:30	開会挨拶 (副会長:志賀 隆)
	13:30-14:20	口頭発表 5 題(1)O-01～O-05 ¹⁾
	14:20-14:30	休憩・時間調整
	14:30-15:20	口頭発表 5 題(2)O-06～O-10 ¹⁾
	15:20-15:30	休憩・時間調整
	15:30-16:20	口頭発表 5 題(3)O-11～O-15 ¹⁾
	16:20-16:30	休憩・時間調整
	16:30-17:20	口頭発表 5 題(4)O-16～O-20 ¹⁾
	17:30-17:50	幹事会
	17:50-18:10	総会
	19:00-20:00	夕食
12 月 7 日(日)	9:00-9:40	口頭発表 4 題(5)O-21～O-24 ¹⁾
	9:40-9:50	休憩・時間調整
	9:50-10:30	口頭発表 4 題(6)O-25～O-28 ¹⁾
	10:40-11:30	ポスターセッション(1) 奇数番号
	11:30-12:20	ポスターセッション(2) 偶数番号
	12:30-13:30	昼食・発表賞審査
	13:30-14:00	閉会挨拶・優秀発表賞表彰 (副会長:芹澤 如比古) 写真撮影・解散

参 加 費: 一般・学生 1,000 円

宿泊費(1 日目夕食, 2 日目朝食・昼食を含む): 一般・学生 9,000 円

受付は 12:30 から行いますので, グループ単位でまとめてお支払いください。

名札はこちらでは用意しませんので, 各自でご準備ください。

- 1) 口頭発表は, 1 人発表時間 7 分, 質疑 2 分, 交代時間 1 分の合計 10 分です。
- 2) ポスター発表の方は, できるだけ受付後に, また遅くとも 2 日目の口頭発表開始までに, ポスターを掲示してください。ポスターの設置場所や掲示用具(養生テープなど)は会場で指示・用意します。ポスターは, 横 90cm, 縦 180cm 以内で作成してください。演題番号が奇数の方はポスターセッションの前半 50 分, 偶数の方は後半 50 分, 自身のポスターの前に立ち, プレゼンと質疑応答を行ってください。

発表プログラム

12月6日(土)13:20～

13:20 開会の言葉: 志賀 隆 副会長

口頭発表 5 題(1)座長・TK: 米山貴将, 彦坂亮太

- 13:30 O-01 水素酸化脱窒汚泥の養魚飼料化:*Thauera* 属細菌の基礎的栄養特性評価
○小倉勇輝・亀井樹
山梨大学生命環境学部 B4
- 13:40 O-02 常圧散水型水素酸化脱窒装置の開発:一流下距離による水素溶解効率の変化—
○飯野彩希・亀井樹
山梨大学生命環境学部 B4
- 13:50 O-03 信大上田キャンパスにおける春期・夏期に認められた鱗翅目チョウ類相について
○中川智就・児林鈴華・平林公男
信州大学繊維学部 B4
- 14:00 O-04 諏訪湖の底生動物群集にみられる個体数密度の季節変化(2024-2025 年の結果について)
○児林鈴華・中川智就・宮原裕一・笠原里恵・岩木真穂・平林公男
信州大学繊維学部 B4
- 14:10 O-05 イバラモ類 *Najas marina* および *N. major* の種子発芽特性と塩ストレスの影響
○小高海都・志賀隆
新潟大学教育学部 B4

休憩・時間調整

口頭発表 5 題(2)座長・TK: 原光平, 奥石庸行

- 14:30 O-06 新潟県粟島の植物相:1964 年新潟地震後の変化に着目して
○大瀧竜也・志賀隆
新潟大学教育学部 B4
- 14:40 O-07 カヤツリグサ科絶滅危惧植物の標本種子の収蔵量および利用可能性の評価
○尾形灯・加藤将・矢野興一・志賀隆
新潟大学教育学部 B4
- 14:50 O-08 山梨県の河川に生育する淡水紅藻オオイシソウの光合成特性
○芦澤優希・芹澤(松山)和世・芹澤如比古
山梨大学教育学部 B4
- 15:00 O-09 山梨県内 30 河川で春夏秋に確認された水草・大型藻類とその生育環境
○星野晴香・芦澤優希・市川大和・芹澤(松山)和世・芹澤如比古
山梨大学教育学部 B4
- 15:10 O-10 山梨県笛吹市の桃園の下草植生—減農薬無肥料栽培と慣行栽培の比較—
○五味実優・星野晴香・芹澤(松山)和世・芹澤如比古
山梨大学教育学部 B4

休憩・時間調整

口頭発表 5 題(3)座長・TK:末石萌乃, 飯室遼

- 15:30 O-11 EEM を活用して水生生物の生息状況を簡便に把握する方法の検討
○大橋一功・坂本正樹
富山県立大学工学部 B4
- 15:40 O-12 屋内におけるイカダモの高密度培養系の構築と回収プロセスの最適化
○山田悠介・坂本正樹
富山県立大学工学部 B4
- 15:50 O-13 標準試験生物 3 種を対象としたタイヤ摩耗粉塵の生態影響評価
○岡田樹・坂本正樹
富山県立大学工学部 B4
- 16:00 O-14 内水氾濫解析における流域治水オプションの評価
○羽田航大・呉修一
富山県立大学工学部 B4
- 16:10 O-15 千曲川における河川改修の変遷と水災害への影響
○三木由紀乃・呉修一
富山県立大学工学部 B4

休憩・時間調整

口頭発表 5 題(4)座長・TK:小野ひなた, 三浦克仁

- 16:30 O-16 釜口水門の改設・移設が諏訪湖におけるアオコの減少に与えた影響に関する数値実験
澤田光翼・○鈴木陸・飯室遼・豊田政史
信州大学工学部 B4
- 16:40 O-17 諏訪湖における南東強風時の風の場の検討
○田中颯・飯室遼・豊田政史
信州大学工学部 B4
- 16:50 O-18 富山と東京における地下水中 PFAS の実態調査と汚染要因の推定
○倉谷結子・赤井楓我・吉崎壮・黒田啓介・橋本崇史・林武司
富山県立大学工学部 B4
- 17:00 O-19 蛍光物質に着目した河川における下水処理水の拡散様態の評価
○大曾健・中村文哉・亀井宥希・安藤千礼・小野寺崇・小松一弘・小澤秀明
信州大学工学部 B4
- 17:10 O-20 インドネシアの湖沼における溶存有機物の特性比較
○近藤颯太・野田蒔志・小松一弘
信州大学工学部 B4

休憩

- 17:30 幹事会
- 17:50 総会
- 休憩
- 19:00 夕食

12月7日(日)9:00～

口頭発表 4 題(5)座長・TK:片山浩惇, 熱田穂歌

- 9:00 O-21 炭素・窒素安定同位体比を用いたワカサギ *Hypomesus nipponensis* と
ワカサギ杯頭条虫 *Proteocephalus terastomus* の宿主—寄生関係の解明
○武澤美緒・浦井暖史
信州大学理学部 B4
- 9:10 O-22 木崎湖における垂表層メタン極大現象と関連する微生物の探索
○永尾弘毅・浦井暖史
信州大学理学部 B4
- 9:20 O-23 約 300 年間における諏訪湖の一次生産量の変遷の復元
○松本拓也・浦井暖史・公文富士夫
信州大学理学部 B4
- 9:30 O-24 ○鈴木悠花・朴虎東・二木功子
シイタケと廃菌床におけるアオコ制御物質の探索
信州大学理学部 B4

休憩・時間調整

口頭発表 4 題(6)座長・TK:川本朋慶, 中尾朔也

- 9:50 O-25 ○郡山千鶴・宮原裕一
諏訪湖の水草が蓄積する窒素・リンの季節変化
信州大学理学部 B4
- 10:00 O-26 ○小海晃博・中山隆・宮原裕一
諏訪湖におけるマイクロプラスチック収支の解明
信州大学理学部 B4
- 10:10 O-27 ○伊藤雄剛・龍野紘明・松澤 峻・丸山瑠太・笠原里恵
ミトコンドリア DNA からみた諏訪湖のワカサギの遺伝的特徴の年及び季節変化
信州大学理学部 B4
- 10:20 O-28 ○北澤丞・笠原里恵
高島城で繁殖するアオサギの生活史の解明
信州大学理学部 B4

休憩・時間調整

- 10:40 ポスターセッション (1) 奇数番号 10:40-11:30
ポスターセッション (2) 偶数番号 11:30-12:20
- 12:30 昼食
口頭発表審査, ポスター発表審査
- 13:30 閉会式・写真撮影

12月7日(日)ポスターセッション

(1) 奇数番号 10:40-11:30 (2) 偶数番号 11:30-12:20

- P-01* 日本産ヤナギ *Salix* による藍藻抑制効果と制御システムへの応用
○小泉雄也・二木功子・朴虎東
信州大学大学院 M1
- P-02* 水中スピーカーの低周波を用いた藍藻の制御方法の実用化に向けて
○佐藤雅敏・宇佐川輝・永峯亮弥・二木功子・朴虎東
信州大学大学院 M1
- P-03* 諏訪湖湖底堆積物コアを用いたメタン生成菌群集構造の高解像度鉛直分布評価
○吉田悠真・浦井暖史
信州大学大学院 M1
- P-04* ジュンサイハムシのヒシ摂食による藍藻制御効果
○原光平・土屋俊雄・二木功子・朴虎東
信州大学大学院 M2
- P-05* 金属により異なるミジンコの誘導防御への影響
○米山貴将・坂本正樹
富山県立大学大学院 M2
- P-06* 生物間相互作用を考慮した藻類生長阻害試験法の開発
○彦坂亮太・坂本正樹
富山県立大学大学院 M2
- P-07* 奥能登地域の中小河川における2024年9月奥能登豪雨を対象とした降雨流出・洪水氾濫解析
○中尾朔也・呉修一
富山県立大学大学院 M1
- P-08* 富山県における微生物粒子個数濃度の動態
○山本彩人・森智晴・内藤拓洋・山田奈於・渡辺幸一
富山県立大学大学院 M1
- P-09* 融雪期の山岳表層雪の冷蔵保存中における化学成分の時間変化
○森智晴・大納涼雅・山崎雄太・渡辺幸一
富山県立大学大学院 M1
- P-10* 北陸地方における地上および上空大気中の過酸化物濃度の測定
○内藤拓洋・大納涼雅・山崎雄太・森智晴・山本彩人・青木悠華・田谷つぐ美・山田奈於・渡辺幸一
・濱本倫太郎・中島光貴・石野咲子
富山県立大学大学院 M1
- P-11* 狭葉性ヒルムシロ属3種が関わる種間雑種の推定
○三浦克仁・廣田峻・石川直子・陶山佳久・志賀隆
新潟大学大学院 M2
- P-12* 稲作農業残渣のバイオ炭化による温室効果ガス排出削減とその経済性の評価
○井畑 裕樹・小林南斗・前田勇輝・多田真咲・諸槁麻紀・大野正貴・小瀬知洋
新潟薬科大学応用生命科学部 B3

- P-13* 河川水及び水道水中のネオニコチノイド系殺虫剤の季節変動
○萩原 稜太・小林南斗・諸嶋麻紀・大野正貴・小瀬知洋
新潟薬科大学応用生命科学部 B3
- P-14* 水素酸化脱窒リアクター内での有機炭素生成の研究:脱窒反応におけるプラスチックモノマーの役割
○片山浩惇・亀井樹
山梨大学大学院 M1
- P-15* 甲府市帯那地区の環境保全型水田と慣行型水田で確認された植物と大型藻類
○市川大和・芦澤優希・芹澤(松山)和世・芹澤如比古
山梨大学教育学部 B3
- P-16* 諏訪湖水草帯におけるマイクロプラスチックの動態解明
○森田瑛斗・中山隆・宮原裕一
信州大学大学院 M1
- P-17* 諏訪湖における窒素循環と植物プランクトン増殖
○奥石庸行・浦井暖史・宮原裕一
信州大学大学院 M2
- P-18* セルリーの揮発成分を用いた藍藻制御機構の解明
○小野ひなた・浦井暖史・二木功子・朴虎東
信州大学大学院 M2
- P-19* 河川水位計を用いた農業用水路の管理システム構築
○菊地美汐・小林春菜・寺島音琶・酒井美月・芦田和毅
長野高専工学科 4 年
- P-20* 長野市の下水道における不明水の調査に関する研究
○小関すず・藤澤暖・酒井美月・芦田和毅
長野高専工学科 5 年
- P-21* 干渉 SAR 解析を用いた湿原における堆積土層厚変化と水文条件に関する検討
田中都亜・○黒澤岳人・酒井美月・松下英次
長野高専専攻科 1 年
- P-22* 海水条件下における水素酸化脱窒細菌群の脱窒能力評価
○熱田穂歌・亀井樹
山梨大学大学院 M2
- P-23* 日本で繁殖するシロチドリ *Charadrius alexandrinus* の遺伝的構造の解明
○末石萌乃・峯光一・澤祐介・守屋年史・佐藤達夫・北村亘・山下洋平・吉田祐一・西海功・笠原里恵
信州大学大学院 M2
- P-24* 諏訪湖におけるヒシの根系の解明: 滲出物と形質は水中根と地中根で異なるのか?
○鈴木和子・牧田直樹・宮原裕一・朴虎東・岩田拓記
信州大学理学部 B4
- P-25 水門操作で生じる攪乱の環境改善—氷見市十二町潟の管理に向けて—
○川本朋慶・沼澤蓮音・中尾朔也・倉澤央・西尾正輝・呉修一
富山県立大学大学院 D2
- P-26 農薬がミジンコ休眠卵に及ぼす影響:茨城県霞ヶ浦を事例に
○小田悠介・高津文人
国立環境研究所

- P-27 諏訪湖で羽化するトンボ類の年変動と季節変動
○宮坂真司・福本匡志・谷野宏樹・筒井裕文・北野聡
長野県諏訪湖環境研究センター
- P-28 諏訪湖における淡水シジミ類の生息場所選択性
○柳生将之
長野県諏訪湖環境研究センター
- P-29 野尻湖の水生植物相調査結果(2025)速報
志賀隆・○小平由美子・柳生将之・筒井裕文・宮坂真司
長野県諏訪湖環境研究センター
- P-30 諏訪湖の *Daphnia galeata* の食物の解明
○佐藤秀美・二木巧子・笠原里恵
信州大学大学院卒
- P-31 諏訪湖の水温成層と内部静振
○岩木真穂・岩田拓記・宮原裕一
信州大学理学部
- P-32 河川水中の冷水病菌遺伝子検出・タイピングのための濃縮・培養法の検討
○端昭彦・金岡莉奈
富山県立大学工学部

注)ポスター発表 講演番号右のアスタリスク(*) : 発表賞選考の対象